



ハケ・用水・わき水通信

NPO法人 府中かんきょう市民の会
 発行 2020年12月15日(火) No.37
 担当 葛西利武 ☎090-5564-5838
 H P <http://f-env.sakura.ne.jp>
 府中市市民活動センタープラッツ登録団体

掲示板取替え、清掃活動、巣箱管理

今年度はコロナ禍のため、「府中かんきょう市民の会」の諸活動がほとんど中止となった。西府崖線保全活動も大きな影響を受けたが、いくつかの活動は実施できた。生態系調査(9/30)、ハケ掲示板取替え作業(10/27)、秋の清掃活動(11/7)、巣箱管理(12/6)、日新町市民花壇・西府町緑地花壇などである。

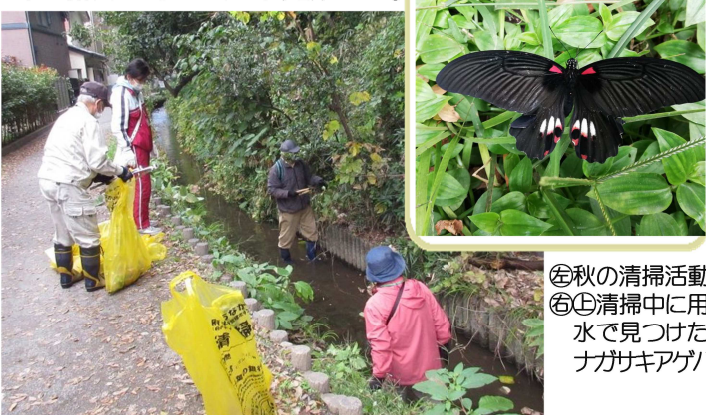
ここでは(1)ハケ掲示板取替え作業(2)秋の清掃活動(3)巣箱管理について報告する。ちなみに、コロナ禍のため全員がマスク着用、事前事後に手を消毒するなどの細心の注意をはらった。



①(右)掲示板取替え完成
 ②(左)掲示板を打込む
 上野さん

(1)ハケ掲示板3ヶ所取替え作業が10月27日(火)、秋晴れのなか10:10～12:10に行われた。参加者は上野好輝、浅田、葛西、金田、小西、鈴木潔、竹内の7人。

長年の懸案事項であったが、非会員で西府崖線保全活動に度々参加されている元大工の上野さんの設計、製作、取付け等にわたる、全面的な協力のもとに無事完成した。



④秋の清掃活動
 ⑤清掃中に用水で見つけたナガサキアゲハ

(2)秋の清掃活動は11月7日(土)9:30～10:45に実施された。参加者は浅田、葛西、金田、小西、高家、竹内、田中の会員7人。作業はハケ上、ハケ下(あずまやから国立市側)の2班にわかれた。ゴミ量は多いときには10袋以上もあったが、今年は外出を控える方が多いとしても、たったの2袋。

ここ数年の印象としては、不法投棄も含めてゴミがかなり少なくなった。ブロークンウインドウ理論(割れ窓理論)が実証されているのではないだろうか。これは直接的には環

境犯罪学上の理論であるが、ゴミのポイ捨て、不法投棄などにも当てはまる。簡単に言えば、そこにゴミが沢山捨ててあると、ほかの人も捨てやすくなるという人間の心理に注目したもので、周りの環境が人の思考や行動に大きな影響を与えることを示す。



⑥本宿町緑地での巣箱取付け
 ⑦⑧巣箱のなかの巣

(3)巣箱管理は12月6日(日)14:00～16:10小春日和のなか実施された。浅田、葛西、田中、金田、牧原の会員5人が参加。事前に「巣箱の取外し、再取付け」と「巣箱清掃、写真撮影」の2班に分かれた。

今回は巣箱6個中、過去最多の4個に営巣確認。長年この活動をしているが、今までは3個だったと思う。また、会員の高齢化もあり、やや危険を伴う高所作業のため巣箱6個の作業は難しいと思っていたが、杞憂に終わった。

なお、来年(2021年)早々の恒例の一般参加者を募った野鳥観察会は中止とする。しかし、今回はハケ上に位置している(府中市立)五小児童の環境学習の一環として、1月半ばくらいの野鳥観察会を予定している。

花壇2景



⑨日新町市民花壇(11月30日)/スノーポール40株、パンジー35株の花植え作業
 ⑩⑪西府町緑地花壇(11月7日)/コスモス満開



一般財団法人
セブン-イレブン
 記念財団

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けています。

カラー図版(その3) / 『四季おりおりの花』改訂版 2018年12月1日発行(A4サイズ)

(表面)



ツバキ

ツルマサキ

ウメ

冬



ヒメシャラ

市川露道/雪の「あずまや」

アオツラフジ



ネズミモチ

シロガモ

クガネモチ



ヒワ

雪花(サツキの葉に翻)

発行 者 NPO法人
府中かんきょう市民の会
西府自然保全活動チーム
発行日 2017年3月1日
(改訂版 2018年12月1日)
写真提供 田中 香代子 等

西府崖線の植物
(改訂版)

四季おりおりの花

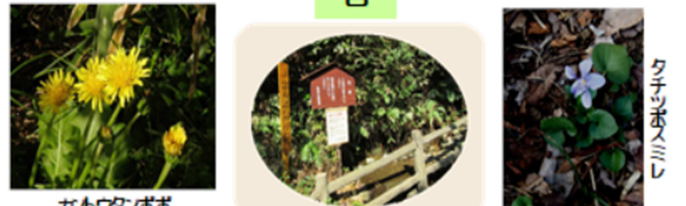


ムササギケマン

シガ

ゴギ

春



ガトウタンポポ

西府町湧水/東京の5湧水57選

タチノボノミレ



イザナラ

ゴギ

キラノク



セトウク

ホケザ

オオイヌノフウ

(中面)



キツネノカミソリ

ケボナシ

クサギ



スイカズラ

むさしの「生き物観察館」
/百中池水にて

キンシバイ



カラスウチ

ヒルガオ

ヤブオ



カノク

セニンソウ

オオマンヨウゲサ



ヒコバサ

マテバエ

クズ



ミノバ

秋の高滝活動/カノ池にて

マユミ



ハハバ

ユキク

チャ



キツネノマゴ

ノボク

ツルギ